

### Ⅲ 平成24年度体育・スポーツ推進計画主要施策の実施状況

#### 基本施策（5つの柱）別総括

（記載様式1号）

柱5															
スポーツを活用した地域の活力づくり															
（目標） スポーツと地域の特性を活かした千葉の魅力発信															
基本施策目標の達成状況															
指標	現状 (H23)	達成状況 (H24)	目標 (28年)												
○ <u>県内各地</u> で開催されるスポーツ大会・イベントへ参画(する・みる・ささえる)意欲の割合	—	65.1%	経年増加												
（基本施策指標） <div style="text-align: center;"> <h3>県内各地で開催されるスポーツ大会・イベントへの参画意欲</h3> <table border="1"> <caption>県内各地で開催されるスポーツ大会・イベントへの参画意欲</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参画意欲 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>65.1</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>スポーツと地域の特性を生かした千葉の魅力発信のため、プロスポーツと学校や地域をつなぐシステムの研究、地域によるスポーツ大会・スポーツイベントの開催、国際大会や全国トップレベル大会の開催にともなう交流機会の創出とボランティア活動の推進などに取り組みます。</p> <p>（総括）</p> <p><b>施策1 プロスポーツを活用したスポーツの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「プロスポーツチームと学校・地域をつなぐシステムの研究」として、競技力向上推進本部会議においてプロスポーツ社長による講演会の開催、「プロやトップアスリートによる青少年の競技力向上や地域の活性化」として、国体選手等によるスポーツ教室や「遊・友スポーツランキングちば」表彰式後に子どもたちとの交流等を具体的な取り組みとして実施いたしました。</li> <li>この施策の指標として「プロスポーツの関心度」を設定しました。現況（平成24年度）では、58.3%でした。</li> <li>今後は、「プロスポーツへの関心度」を平成28年度までの目標値を60%に設定し、プロチームと学校等をつなぐシステムの構築やトップアスリートとの交流活動など、各施策を推進していきたい。</li> </ul>				年度	参画意欲 (%)	H24	65.1	H25	-	H26	-	H27	-	H28	-
年度	参画意欲 (%)														
H24	65.1														
H25	-														
H26	-														
H27	-														
H28	-														

## 施策2 豊かな自然を活かしたスポーツイベントの活用による千葉の魅力発信

- 具体的な取り組みとして、「ちばアクアラインマラソン」は、県民のスポーツを通じた健康増進や体力向上の促進と、千葉県が有する様々な魅力の発信を目的とし、平成24年10月21日に開催しました。ランナー13,946人、当日のボランティアや地元住民の方々などの運営スタッフ4,483人、さらに沿道などの応援で約31万人がマラソンにかかわり、スポーツの「する」「みる」「ささえる」に取り組む「スポーツ立県ちば」の推進に大いに貢献することができました。

また、サイクルツーリズム推進に向けて、サイクリスト誘客のための全県的なPR等を行うとともに、地域におけるイベント開催、環境整備等の取組を補助しました。

この施策の指標は「県内で開催されるスポーツ大会・イベント情報提供への満足度」を設定しました。現況（平成24年度）は、21.4%でした。今後は、平成28年度までの目標値を30%に設定し、スポーツイベント開催の推進や地域スポーツの情報提供などを推進していきます。

## 施策3 国体開催を契機としたスポーツの拠点づくり

- 平成26年度全国高等学校総合体育大会での千葉県内開催競技種目については、平成17年度の「2005千葉きらめき総体」及び平成22年度の「ゆめ半島千葉国体」における開催実績を考慮し、水泳（競泳・飛込）を習志野市、バスケットボールを船橋市・八千代市、ソフトテニス进行白子町、柔道を成田市としました。

さらに、競技開催に有効な施設を有していることから、バドミントンを千葉市、空手道を印西市、アーチェリーを市原市、少林寺拳法を成田市で開催することとしました。

なお、水泳競技のうち水球は、東京都江東区で開催することとしました。

この施策の指標には「地元開催大会の必要性」を設定しました。現況（平成24年度）は、72.0%で、県民の7割以上がスポーツ行事等の開催が必要との認識を示しています。今後は、この指標の経年増加を目指し、「する・みる・ささえる」スポーツを推進していきます。

## 今後の課題と対応

### 施策1 プロスポーツを活用したスポーツの推進

- プロスポーツチームと学校・地域をつなぐシステムの研究

プロとアマ10団体の代表者がスポーツを通じた地域貢献を行う組織の立ち上げ、具体的な活動方針等の協議が進められています。県教育委員会としても、こうした団体と連携を図り、今後の方向性等について引き続き研究するとともに、プロとアマの団体と学校などでのスポーツ交流等が行えるよう協定を結ぶなど、プロスポーツチームと学校等をつなぐシステム構築を目指します。

- プロやトップアスリートによる青少年の競技力向上や地域の活性化

国体選手能力活用事業等を継続し、国体における成果を青少年の競技力向上や地域の活性化など、県内に好循環させることを目指します。

一方、プロスポーツチーム等による学校や地域との交流については、研究段階で今後の課題となっています。

## **施策2 豊かな自然を活かしたスポーツイベントの活用による千葉の魅力発信**

### **・ちばアクアラインマラソン（新規事業）**

大会の成果・課題等の内容を丁寧に検証し、精査したうえで次回開催を判断します。

### **・サイクルツーリズム**

本県の地域特性を活かし、引き続きサイクルツーリズムを推進していきます。

## **施策3 国体開催を契機としたスポーツの拠点づくり**

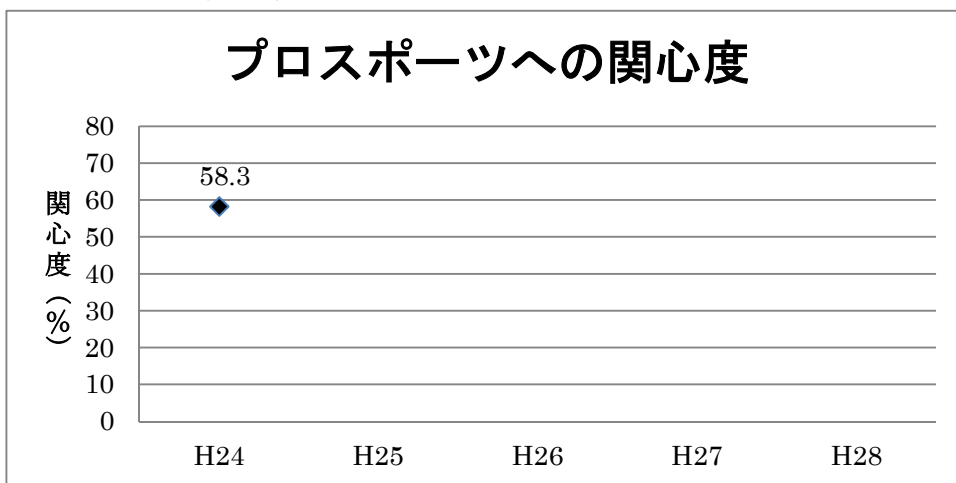
開催市町と連携し、各競技種目の開催を周知するため、広報活動を充実させる必要があります。このため、ホームページの活用や横断幕やポスター等を作成し広報活動を活発化します。

また、開催市町地区の高校生参画によるPR活動や大会補助等を検討します。

柱5 スポーツを活用した地域の活力づくり（基本施策に紐づく下位指標の達成状況）

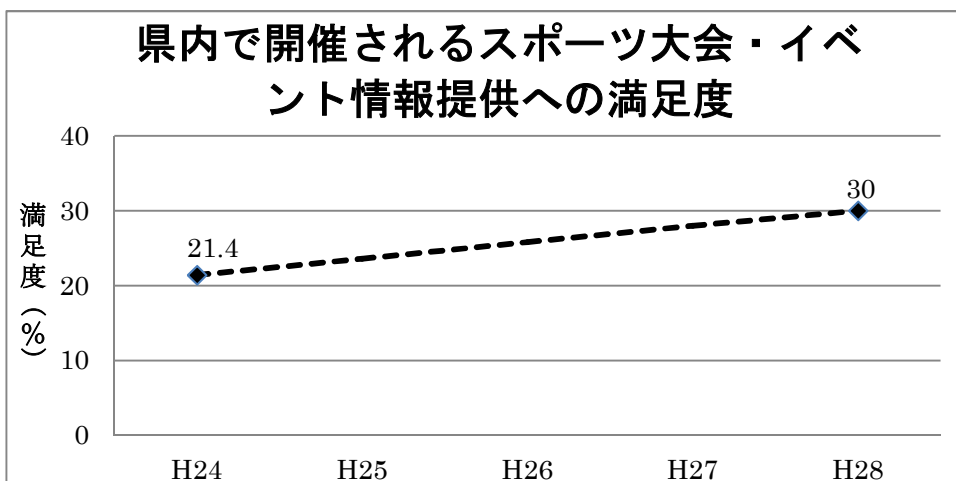
施策1 プロスポーツを活用したスポーツの推進

○プロスポーツの関心度



施策2 豊かな自然を活かしたスポーツイベントの活用による千葉の魅力発信

○県内で開催されるスポーツ大会・イベント情報提供への満足度



施策3 国体を契機としたスポーツの拠点づくり

○地元開催大会の必要性

